

碧南市特別支援教育推進活動委員会だより

執筆 編集 発行
碧南市特別支援教育推進活動委員会
啓発活動部

さ さ え あ い 第64号



碧南市特別支援教育推進委員会では、児童・生徒が将来自立できるよう援助する活動を計画し、推進しています。また、市民のみなさんに特別支援教育を一層理解していただけるよう「ささえあい」を発行しています。今号は、特別支援学級の交流活動や昨年度、中学校を卒業した生徒の進路先などを紹介します。

楽しかった居住地交流会

新川小学校



(楽しかったキャップカーリング)

年に一度、会うことができるので「まるで七夕の織姫と彦星みたいだね。」と児童が楽しみにしている居住地交流会が7月に行われました。居住地交流会は、校区内に住む特別支援学校に通う児童と楽しく交流する会です。交流会は児童が企画し、児童の司会進行で行われました。なかでも盛り上がったのは、キャップカーリングです。氷上のカーリングをまねて、瓶のキャップで的を狙います。チーム対抗戦で点数を競い合いながら互いの選手を応援し、一喜一憂しながらゲームを進めることができました。今年もみんなで再会でき、成長を喜び合うことができる楽しい交流会となりました。

中学卒業後の進路

【市内中学校特別支援学級生徒の進路】

		29年度	28年度	27年度	26年度	25年度	24年度	23年度	22年度
特別支援学校	安城特別支援学校	7	3	5	3	3	5	9	9
	大府もちのき特別支援学校桃花校舎	2	2	2			1		
	豊田高等特別支援学校	1	2	1	3	4	4	2	
	ひいらぎ特別支援学校		1						
	職業訓練校			2	1			1	2
	公立高校	1		1					
	専修学校	1	2	3				1	1
	各種学校					1	1	1	
	家事従事			2		1	1		

平成29年度、碧南市内の特別支援学級を卒業した生徒12名の進路は上の表のとおりです。

大府市にある「半田特別支援学校桃花校舎」は、「大府もちのき特別支援学校桃花校舎」に校名が変わりました。最近、専修学校への進学も増えてきています。特別支援学級生徒の受け入れ体制がある通信制高校もあります。情報系や福祉系の専門学校、調理師の専門学校などの進路もあります。お子さんの将来や可能性に目を向け、ふさわしい進路を見つけていくことが大切です。

進路について考えることは、早いほどよいと言われています。小学校の段階から進路について家庭や学校で話し合いをもつことをおすすめします。



碧南市特別支援教育講演会

「地域でつなげよう！支援の輪 ～保護者・医療・福祉・学校・行政の立場から連携について考えよう～」

パネリスト 医療 刈谷病院理事長 平野千晶氏
保護者 親子の会「カラフル」代表 鈴木由記氏
福祉 社会福祉協議会相談支援専門員 古川裕隆氏
学校 西端小学校特別支援教育コーディネーター 石川咲子氏
行政 学校教育課指導主事 鎌谷祥行氏

日 時 平成30年 7月22日（日） 午後2時～
場 所 碧南市文化会館

碧南市特別支援教育推進活動委員会では、小中学校等の保護者・教員・学校関係者の方々に特別支援教育の理解を深めていただくために、講演会を行っています。今年度は、パネルディスカッションを行いました。医療・保護者・福祉・学校・行政の方をパネリストに迎え、それぞれの立場から連携についてお話をいただきました。



その後、鈴木氏の今までの子育ての体験をもとに、各機関との関わりについてパネリスト相互で語り合いました。園や学校で困ったときに平野先生に相談してきたこと、学校と相談して通常学級との交流の授業を増やしてきたこと、社会福祉協議会から放課後デイサービスを紹介されたことや支援会議を開いたこと、学校教育課で就学相談をしたことなど、各機関とよく相談して子育てをしてきたことやそのなかでのお子様の成長や連携の様子がよく分かるお話でした。保護者・医療・福祉・行政・学校がより寄り添って支援していくことの大切さを強く感じました。

子育てを一人で抱え込まないで

乳幼児健診では、たくさんの親子に出会います。子どもの成長を日々感じながら育児をしているお母さん、時間に余裕がないためにいららし、怒らなくてもよい場面で子どもを怒ってしまうお母さん、病気のため子育てがうまく笑えないお母さんとそんなお母さんの顔色を見ながら行動する子ども等、いろいろな親子に出会います。



乳幼児健診は、子どもの発達状況、生活状況を聞き取るとともに「子育てをしていて楽しいですか」「子育てについて相談できる人はいますか」と問いかけています。乳幼児健診は、お母さん自身の子育てについても、相談できる場です。子どもといつも一緒にいるお母さんの気持ちがゆったりとしていること、子育てが楽しいと思えることが多いほど、子どもも笑顔があふれ、健やかに成長していくことができるのではないかと感じています。

子育てにやりにくさを感じたとき、いつも怒っていると反省することが多いなと感じたとき、ちょっとした工夫でやりにくさが減り、笑顔で子育てができるようになると思います。

保健センターの育児相談や乳幼児健診を上手にご活用ください。子育てを応援しています。

(健康課 母子保健係)